

衆議院環境委員会ニュース

平成 28. 3. 25 第 190 回国会第 5 号

3 月 25 日（金）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・福島県における放射性物質汚染対策等に関する実情調査のため、同県において視察を行った委員を代表して、赤澤委員長から報告を聴取しました。
- ・丸川環境大臣（原子力防災担当大臣）、井上環境副大臣、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

升 田 世喜男君（民維ク）

- ・ホタテ貝養殖に関して、ホタテ貝に付着した海藻等の残さを陸揚げしたものについては、ロンドン条約 96 年議定書において海洋投入処分が禁止されている。その一方で、海上の船舶からの残さの海洋投入については国交省の通達により認められている。同議定書における規定内容と海上の船舶からの投入が認められている理由について、環境省に伺いたい。
- ・海にあったものを海に返すのは陸揚げしても同じことではないか。残渣処理に係る費用がかさみ養殖業者の採算が取れなくなっている。こうした実情を踏まえて、同議定書の規定を改正する必要性について、丸川環境大臣の所見を伺いたい。

松 田 直 久君（民維ク）

- ・一昨日の環境委員会の視察において意見交換を行った浪江町では、国の実施している除染が遅れているが、除染の進捗の加速化、目標達成に向けた今後の取組方針について丸川環境大臣に伺いたい。併せて、森林に対する除染範囲の更なる拡大の必要性に対する考えを伺いたい。
- ・省エネについて、国民一人ひとりに対してどのような施策をお願いするのか。地球温暖化対策推進法の国民の責務規定により徹底した省エネを求めるのか、省エネ法のように削減目標を家庭部門に課すのか、丸川環境大臣の見解を伺いたい。

福 田 昭 夫君（民維ク）

- ・10 万ベクレル以下の指定廃棄物の処分に係るフクシマエコテッククリーンセンターの活用については、地元で反対運動がある。一般廃棄物及び産業廃棄物を同センターで、指定廃棄物は中間貯蔵施設で処分すること

にすれば、反対運動は収まると考えるが、環境省に伺いたい。

- ・指定廃棄物の処分場候補地である栃木県塩谷町は昨年 9 月の関東・東北豪雨により洪水地域と判明した。このため、塩谷町については処分場建設を前提とする全戸訪問や詳細調査を行わないと丸川環境大臣に約束していただきたいが、いかがか。
- ・本年は放射性物質汚染対処特措法の見直し時期であることから、5 県の指定廃棄物をすべて再測定し今後の対応方針を策定することが重要である。策定に向けた丸川環境大臣の決意を伺いたい。

田 島 一 成君（民維ク）

- ・平成 28 年 3 月 10 日の記者会見で安倍内閣総理大臣が「帰還困難区域見直しに向けた国の考え方を、今年の夏までに明確に示したい」との旨の発言をした「今年の夏」とは具体的にいつを指しているのか、また現時点において何が決まっていて、どの程度議論が進められているのか、丸川環境大臣に伺いたい。
- ・一昨日の環境委員会の視察において、浪江町の馬場町長から帰還困難区域と森林における除染の推進の要望を受けた。そこで、除染をすれば平成 27 年度の「農産物に含まれる放射性セシウム濃度の検査結果」の傾向から、出荷制限となっている同町の原木しいたけ（露地）は食べられる状況になるのか、林野庁に確認したい。
- ・原子力規制庁が作成した「安定ヨウ素剤の配布・服用に当たって」のガイドラインは、具体的なケースが記されておらず、自治体では安定ヨウ素剤をただ備蓄しているだけの状況である。そこで、安定ヨウ素剤の配布・服用に対する考え方、また、実際の具体的な配布方法については自治体任せにしてよいと考えているのか、原子力規制庁に確認したい。

小倉 將 信君 (自民)

- ・国立公園を視察した丸川環境大臣の感想及び、国立公園の保護等を実施するレンジャーの増員・業務環境整備等に関する環境省の取組を伺いたい。
- ・海洋ごみとしての影響が懸念されている、製品として製造されたマイクロビーズの除去に関して、環境省及び経済産業省の対応方針を伺いたい。
- ・気候変動長期戦略懇談会による提言を踏まえた、環境省の地球温暖化対策について丸川環境大臣に伺いたい。

塩川 鉄 也君 (共産)

- ・宇都宮市におけるLRTの運行計画では、運転最高速度を「時速40キロメートル」としているが、同市の広報には「将来的には時速50キロ、70キロメートルを目指す」と記載されていることについて、国土交通省は承知しているのか伺いたい。
- ・LRTを道路交通法上の制限速度を超えて運行させるなら、鉄道事業法の対象として平面交差構造にすべきでないと考えますが、国土交通省の見解を伺いたい。
- ・LRTの整備においては、安全対策を後退させないよう住民との合意が必要だと考えるが、同計画に対する丸川環境大臣の見解を伺いたい。

河野 正 美君 (おおさか)

- ・九州電力川内原子力発電所の再稼働後に、免震重要棟の建設が撤回された。この決定に至った経緯及び現在の状況を原子力規制庁に伺いたい。また、免震重要棟

の建設撤回に伴い、避難計画を再計画する必要があると考えるが政府の見解を伺いたい。

- ・福島第一原発事故からの5年間の経験をもとに、今後どのように取り組んでいくか、田中原子力規制委員会委員長及び丸川原子力防災担当大臣の考え方を伺いたい。

小沢 鋭 仁君 (結集)

- ・ESG投資を安倍内閣が掲げる成長戦略の柱とすべきと考えるが、丸川環境大臣の見解を伺いたい。
- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて競技施設等に地中熱を活用することが検討されているが、この地中熱について、環境省はどのように評価しているのか伺いたい。また、オリンピック・パラリンピックに向けた丸川環境大臣の決意を併せて伺いたい。

玉城 デニー君 (生活)

- ・一昨日の環境委員会の視察において意見交換を行った富岡町、双葉町、浪江町における除染の進捗状況を環境省に伺いたい。
- ・福島県内の指定廃棄物全体の処理の進捗状況を井上環境副大臣に伺いたい。

2 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律案 (内閣提出第40号)

- ・丸川環境大臣から提案理由の説明を聴取しました。